

SPODフォーラム2015参加者の皆様へ

このたびは、SPODフォーラム2015へご来場いただき誠にありがとうございました。今年は開催間近に台風の影響が懸念されましたが、大きな影響もなく、無事に全プログラムを実施することができました。

全国各地より3日間で488名の方にご参加いただきましたことを、改めてスタッフ一同、厚く御礼申し上げます。

各プログラム等で修得された知識やスキルが、それぞれの職場内で抱える課題解決のヒントとなれば幸いです。また、今回のフォーラムがきっかけで生まれた交流が、今後皆様がFD/SDを実践される際のネットワークとしてつながっていくことを期待しております。

さて、今年度は個々の多様なプログラムの他に、新たな試みとして、初日の夕方にポスターセッションを実施しました。会場を見渡すと、予想以上の人で賑わっており、熱気に包まれる中それぞれのポスターの前では活発な議論が行われておりました。参加者の皆様に、情報交換や意見交換、学びの場として有効にご活用いただけたのではないのでしょうか。

今後もSPODでは、皆様に御協力いただいたアンケート等を参考とし、次年度以降のフォーラムや今後のプログラム開発に活かし、より満足度の高いものを皆様に御提供したいと思っております。

次回もまた、皆様にお会いできることを心より願っております。

SPODフォーラム2015事業実施責任者、SPOD企画・実施統括者
小林 直人(愛媛大学 学長特別補佐, 教育・学生支援機構教育企画室長・教授)
SPODフォーラム2015スタッフ一同

SPODフォーラム2015

フォトアルバム



2601A 「学生の学習意欲を促進する授業設計」



2601B 「研究支援職員としての基礎知識
-ゼロから始める研究者との協働-



2601C 「地域特性論-地方創生・地域資源を
活用した地域の活性化-



2601D 「学生の学びやすさと学習意欲を高める
授業設計-課題分析図の活用-



2601E 「大人数講義法の基本」



2601F 「教学 I R におけるリサーチ・クエス
ションの作り方：教育改善の実現に向けて」



2602A 「理系講義形式授業において学生の
学習を促進する授業デザイン」



2602B 「若手職員に贈るチームワーク入門
「目の前の仕事をこなす」からの
ステップアップ」



2602C 「学生のキャリア形成支援」



2602E 「教育改善のための I R 活用」



2602F 「外国人受入入門
-留学生の受入 A to Z-



2603C 「ケースで学ぶ大学リーダーシップ」



2603D 「事例報告 学習成果の可視化にむけて」



2603F 「海外派遣入門」



2701A 「橋本メソッドを反転授業でやろう!!!」



2701B 「プロジェクトを成功に導く
マネジメントとデザイン思考」



2701C 「人材育成のための人事評価
-評価の心構えとその手法-」



2701D 「ルーブリック評価入門
-考える、つくる、活用する-」



2701E 「大学図書館での学習支援-限られた
スタッフ・予算・時間の中での創り出し方-」



2701F 「アクティブラーニング
-効果的な学習課題のつくり方-」



2702A 「大学版反転授業TBL：
チーム基盤型学習の手法」



2702B 「会議を有意義な時間にするための
マネジメント手法」



2702E 「学習成果の可視化とポートフォリオ」



2702F 「大学の危機管理
-事例から考えるハラスメント-」



2702G 「トッリーダーセミナー
学習成果をめぐる国内外の動向
-学内・国内・国際社会における
合意形成のアプローチ-」



2801A 「学びを促進するための学習支援と
アカデミック・アドバイジング」



2801B 「教育データ解釈法入門：
学びの成果の量的指標を読み解くために」



2801C 「部下・若手職員の育成
-自ら学び成長する-」



2801D 「グラフィック・シラバスを作ろう！」



2801E 「障がい学生への配慮と
大学教育の本質」



2801F 「大学組織論
-大学はどのような論理で動くのか-」



2802A 「テーマ別ラウンドテーブル
映像を活用した授業・研修」



2802B 「ワールド・カフェ
-SDについて語ろう-」



2802C 「テーマ別ラウンドテーブル
学生支援の現状と課題
-私たちにできることは?-」



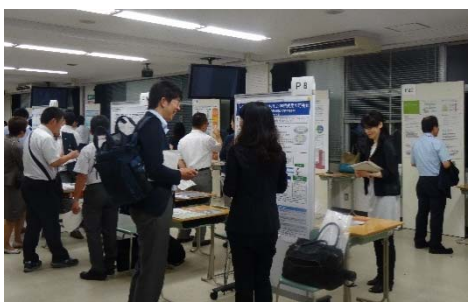
2802D 「テーマ別ラウンドテーブル
学びの成果をどう可視化するか？」



ポスターセッション



ポスターセッション



ポスターセッション



ポスターセッション表彰式

シンポジウム「学びの成果をどう可視化し、組織的な教学改善を推進するか」



左：シンポジストによる講演の様子



シンポジスト
 (左) 高橋哲也氏 (大阪府立大学)
 (中) 福島真司氏 (山形大学)
 (右) 橋本智也氏 (京都光華女子大学)



上：パネルディスカッションの様子

ご来場いただきありがとうございました